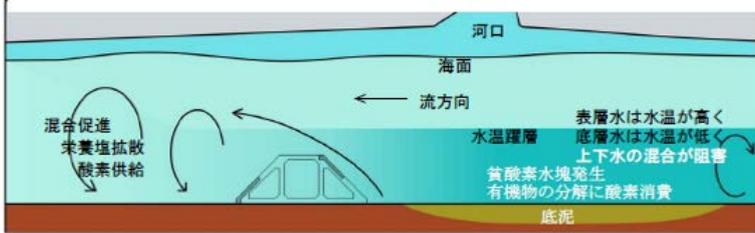


【1-13】

湾・灘の区分	大阪湾
取組の名称	攪拌ブロック礁の設置
事業期間及び事業費	事業期間:2014年度(平成26年度)～継続中(当初計画より延長) 当初計画:大阪湾漁場環境整備事業工事2014～2017年度(平成26年度～29年度)大阪湾漁場環境整備事業効果調査2015～2018年度(平成27年度～30年度) 事業費:46,000千円(但し2018年度事業費)
事業体制	【事業実施】 大阪府環境農林水産部水産課 【攪拌ブロック礁設置工事】 大阪府港湾局都市整備部港湾局
事業の背景・目的	<p>大阪湾においては、湾奥部・東部では湾西部・南部に比べて栄養塩類の濃度が高く、また、湾奥部では夏季に貧酸素水塊が発生するなど、海域によって水質の状況が異なっている。この一因として、湾内における海水の循環が悪いため、栄養塩類が湾奥部・東部に滞留していることが考えられる。</p> <p>本事業は、栄養塩類が滞留している海域に、潮流攪拌ブロック礁(湧昇流発生ブロック)を設置し、底層から表層にかけて海水を巻き上げて移送・攪拌させることにより、海底に酸素を供給し、貧酸素水塊の発生を軽減するとともに、栄養塩が滞留している海域から南部海域に栄養塩を供給することを目的としている。</p>  <p style="text-align: center;">潮流攪拌のイメージ図</p>
事業場所の詳細	<p>湾奥部・東部と湾西部・南部の境付近に位置し、適度な速さの潮流がある、岸和田市地先から泉佐野市地先の海域。</p> 
事業内容	<p>平成30年度は、泉佐野市地先に19基のブロックを設置した。 令和2年度までに200基を設置予定であり、平成30年度末までに159基を設置済。</p> <p>平成27年度～令和3年度に、効果調査を実施する。(調査内容:水質調査・底質調査・餌料生物調査、流況等調査、魚類増集調査)</p>
モニタリング方法(効果・影響の確認方法)	<p>[調査項目]水・底質、流況、底生生物、魚介類等(調査項目は、年度により異なる)</p> <p>[調査時期・頻度]年1回程度</p> <p>[調査場所]前年度ブロック設置位置周辺海域</p> <p>[調査地点数]</p> <p>[モニタリング方法]水産課より外部委託して実施。</p>

モニタリング結果の活用方法	大阪湾奥部の栄養塩を南部の海域に拡散させる方法の検討に活用。 今後の水産資源の持続的な利用の確保のための事業内容の検討に活用。
現状での課題	
今後の予定等	平成 26 年度～令和 2 年度に、200 基の設置を予定している。
取組事例についての発表資料等	瀬戸内海環境保全小委員会(第 16 回)資料
情報提供元	大阪府環境農林水産部水産課